「安心」を支える消防をめざして

# たんごの風

消防広報

vol.17

5/21 河辺保育所　起震車体験

## 特集・・・乳幼児に多発する熱性ケイレン

放火は殺人より重い罪

夏の事故を防げ

火災・救急・救助は

**119**

（携帯電話も同じです）

小さなお子さんをかかえるお父さん お母さん、そしておじいちゃん おばあちゃん。いつの時代も無邪気な子どもの姿には、心を和まされるものです。

そんな天使のような子ども達も、『つも二コ』とばかりはいきません。小さな子どもには、突然、予想外なことが起こる事は多く、病気 ケガとは常にとなり合わせです。なかでもケイレンは、乳幼児によく見られます。

そんな時、果たしてあなたには何が出来るでしょうか。

## ■ケイレン』って何？

ケイレンは突然起こり、一時的に意識がなくなり、呼吸が止まった状態になるため、いざ目の当たりにすると、何をどうしたら良いのか分からず、あわててしまうケースが多いです。

しかしその原因や症状、処置について、ちょっとした知識があれば、あわてず冷静に対処することができるものです。

そもそもケイレンとは一体何故起こるのでしょうか。医学的には、脳に対して発される異常な放電により起こる、顔面 手足などの筋収縮」とされています。これらの原因には様々なものがありますが、発熱を伴う熱性ケイレンがほとんどで、伴わないものには憤怒ケイレン・てんかん等があります。

## ■熱性ケイレン』の特徴

熱性ケイレンは生後6ヶ月から3歳の間に約10％が発症し、38℃以上の急な発熱を伴います。両親や兄弟の中に経験者がいる場合、発症率が高いとも言われています。

ケイレンは全身に現れ、体を突っ張った状態から手足をバタバタさせる状態となり、持続時間は2～3分（5分以内）で、ケイレン中は黒目が上を向く 白目をむいた」状態になり、一時的に意識がなくなりますが、治まったあとはぐっすり眠ってしまう場合が多く、救急隊が到着する頃には、ほとんどがこの状態です。

また、一時的に熱が下がり治まった場合でも、再び熱が上昇した時にケイレンを起こすことがあります。

## ■憤怒ケイレン』泣き入りひきつけ」の特徴

憤怒ケイレンは生後6ヶ月から3歳の間に多く発生する、いわゆるひきつけ」です。

痛みや怒りなどで激しく泣いたあと、息を吐いたままの状態で一時的に呼吸が止まるため、顔色は真っ青になり、唇が紫がかった状態となります。全身にケイレンを起こしますが、大部分が1分程度で回復するものです。

## ■どうすればいいの？

では、実際にどのような処置をすればいいのでしょうか。特別難しいことではありませんので、次の点に注意して落ちついて対処しましょう。

- 決してあわてない
- 体温をはかる
- 急激に冷やさない（熱がある場合）
- 衣服（首まわり）をゆるめ、楽な体勢にし、口から吐いた物を喉につめないよう顔を横に向ける（出来ない場合は無理にしない）

## ■サインを見逃さない

子どものケイレンは、大事なサインです。落ちついてこれを見逃さない事が大切です。

- 意識 呼吸はどうか
- 持続時間は何分か
- どこがケイレンしているのか
- 手足を突っ張っているか
- 目（黒目）はどこを向いているか

### 口の中に何も入れない

口の中を傷つけたり、嘔吐や窒息の危険があるので、ケイレン時に割りばしやタオル等を噛ませることは絶対やめて下さい。

## ■あわてなくても大丈夫

以上のように、ちょっとした特徴や対処方法さえ知っていれば、なにもあわてることはありません。

あわてず落ちついて処置ができれば、子どもさんの苦しさが少しでも治まり、しっかりサインを見ることができれば、病院で診察を受ける時の重要な参考となり、より適切な処置を受ける カギ」になります。

ケイレンは、突然起きる、手に負えないもの」ではなく、知っていれば、あわてず対処できるもの」です。

ただし、ケイレンが10分以上続いたり、3回以上続く場合、あるいは部分的（顔だけ 手だけ等）な時は、速やかに病院で診察を受けてください。また、熱性ケイレンであっても、他の病気が関係している事がありますので、必ず受診するようにしましょう。いずれの場合でも、不安な場合は迷わず救急車を呼んでください。

かわいいお子さんを守るのは、あなたの勇気と自信です。小さな子どもは、体の不調をうまく伝えることができません。しかし、何かを訴えようとしているのです。

その子どもが出すサインを決して見逃がさず、適切な処置ができるよう、救急講習会等に積極的に参加し、どこの家庭にも 自信という名の救急箱」を備えましょう。

小さなサインも見逃さないで

## 小児期のケイレン

国保久美浜病院 小児科医長
岩見 均

小児期にケイレンを起こす原因には熱性ケイレン、てんかん、脳炎、薬物中毒、脳外傷など数多くありますが、その90％以上は熱性ケイレンで、次いでてんかんが占め、それ以外は希（まれ）です。

子供がケイレンを起こすと、保護者は非常に不安になりますが、単なる熱性ケイレンは生命の危険も後遺症もない、無害で良性な疾患です。小児のケイレンで救急を要することは希ですが、脳炎など脳に強い異常がある場合や、ケイレン重積（じゅうせき）と言ってケイレンの原因に関わらず30分以上続くケイレンは重篤（じゅうとく）な状態になることがあり、ケイレンが起こった際には単なる熱性ケイレンかどうかは不明ですから、30分以内に病院で受診するのが望ましいです。熱性ケイレンとわかっている子供なら以下に述べる座薬を使用し、しばらく様子を見ても差し支えないでしょう。病院到着時に治まっていれば安心ですし、続いていれば早急に治療する必要があります。

ケイレンの際にはあわてずに、子供を静かに安全な場所に寝かせ、呼吸が楽になるように衣服をゆるめ、顎（あご）をのばし、嘔吐物（おうとぶつ）が気管に入らないように顔を横に向けます。舌を噛まないようにと口腔（こうくう）内にものをつめるのは窒息を招く危険性があるのでしてはいけません。

日本では、ダイアップという座薬がよく治療に用いられます。体重に応じた量を8時間空けて二回使用すれば、一～二日は十分な効果が得られます。眠気以外に、強い副作用もなく、投与後15～30分で効果が現れてきます。ケイレンを鎮めるためにも使用しますが、熱性ケイレンのおきやすい子供で、発熱時に予防的に使用する目的でも使用します。

# 夏の事故を防げ

今年も子どもたちが楽しみにしている夏休みが近づいてきました。海や川など水辺で遊ぶ機会も多くなります。

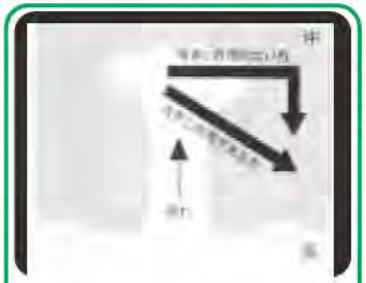
自然の中で安全に楽しむためには、ルールを守ることが大切です。遊泳禁止の時や場所で泳がない、お酒を飲んで泳がないなど、ちょっとした注意で大切な命を守ることができます。夏が来る前にもう一度安全について家族で話し合ってみてください。

## ■知っていますか、離岸流（りがんりゅう）

海で起こる事故で、泳いでいた人が沖に流され溺れてしまうという事故があります。波、風の強い日が危険なのはもちろんですが、普通に見える海でも、流れが急に速くなる場所があります。これが「離岸流」といわれるものです。離岸流は砂浜から沖へ向かう流れの事で、流れの速いものでは秒速2メートルをこえるものもあります。水泳のオリンピック選手でも流されてしまう速さと言われています。流されてしまうと、いくら岸に向かって泳いでも戻れなくなり、疲れとパニックで溺れてしまいます。足を引っ張られるような感覚に襲われたり、沖に強く引きずられそうになったりしたときに、一番大切なのは、あわてないことです。沖合で潮の流れの力が弱くなり、穏やかな流れになる所が必ずあります。離岸流の幅は10メートルから30メートルといわれていますので、無理せずに水面に浮いた状態で、岸と平行にゆったりと泳ぎ、潮の流れが穏やかになったところで岸に向かって泳ぐのが安全です。

## ■溺れた人を見つけたら

もしあなたの友人や、子供が溺れたとしたらどうしますか？すぐに助けに行きたいと思うものですが、飛び込んで助けに行く前に、まず落ちついて周りを見渡してください。自分が助けに行くことが安全かどうか確認して、一番安全な方法を考えてください。手助けをしてくれそうな人や、役に立ちそうな道具があるかもしれません。もし周りに他の人がいれば助けを求め、119番通報を頼みましょう。そして何か水に浮きそうなものがあれば、溺れている人の近くに投げます。何でもかまいません。浮き輪やロープ、棒を差し出すのも一つの方法です。泳いで助けに行くのは最後の手段です。



■発生場所
- 海岸が外洋に面しているところ
- 海底の勾配は緩い遠浅で、海岸線が長いところ
- 波が海岸に対して直角に入る海岸
  以上の３つを充たしている海岸

■離岸流からの脱出方法
岸に平行に泳ぎ離岸流から抜け出してから、岸に向かって泳いでください。決して流れに逆らって泳がないこと。体力を消耗するだけです。まず落ち着いて、岸と平行に泳いでください。

溺れてもがいている人に近づく時は、できるだけ背後から近づきます。前からだと抱きつかれてあなたも一緒に溺れる危険があります。近くまで行ったら用意した浮き輪などにつかまらせて、落ち着くよう声をかけましょう。相手がパニックに陥っている場合は怒鳴りつけてでも落ちつかせましょう。

溺れている人を助けるのは、訓練をしている人でもたいへん危険です。もしもの時のために、応急処置の基本や着衣泳などを身に着けておくことは、とても大切なことだと思います。まず危険な場所には行かない、危険なことをしない。思いがけない事故を減らすためには当たり前のつみかさねが大切です。



# 放火は殺人より重い罪…

近ごろ、新聞・テレビなどで放火による火災の写真などを目にされることが多いと思います。その中には、人の命を失うようなものもあります。全国的にも火災原因のトップは放火によるものです。社会生活の変化とともに増えつづける放火ですが、みなさんの身のまわりも今一度点検してみてください。

放火の動機は「社会に対する不満」がそのほとんどであり、それを防ぐにはみなさん一人一人の心掛けと放火されない環境づくりが大切です。家族で、自治会等で放火されない街づくりに心掛けましょう。

■家の周りには燃えやすいものを置かない

■建物の周りに外灯などを設置して暗がりをなくす

■勝手口 倉庫 窓などのカギを忘れない

■自治会で夜回りなど、パトロールをする

現住建造物等放火（刑法第108条―放火して、現に人が住居に使用し又は現に人がいる建造物、汽車、電車、艦船又は鉱坑を焼損したものは、死刑又は無期若しくは5年以上、殺人罪は3年以上）の懲役に処す

## 救急一口メモ

### 救急隊員からのお願い

こんにちは峰山救急隊、救急救命士の吉岡です。どうされましたか。救急車は一日に5件ペースで出動しています。この内、65歳以上の方の救急は約50％を占め、子どもの救急は約6％（年間約100人）です。よくある事例をお話ししましょう。

救急救命士
吉岡　日出圭

- 物が詰まったら＝背中をたたいてください。これが一番です。
- やけど＝水道の水を30分以上痛みがやわらぐまでかけましょう。
- すり傷・きり傷＝きれいなガーゼで、血の出ている箇所を3分間、しっかり押さえます。
- 鼻血＝鼻をつまんでうつむき、じっとしていてください。鼻をつまんで空をながめる人がいますが、大きな間違いです。

オロオロしているだけではダメです。ぜひ応急手当を覚えましょう。

# フォトキャッチ

5/14 川上保育園　久美浜分署を見学　みんな元気です

5/21 河辺保育所 起震車体験
上手にもぐれたね

5月9日　弥栄中学校3年生　消防署を学ぶ

峰山消防署本署に弥栄中学校の3年生5名が、職場体験のためやってきました。少ない時間だったけど、消防署の仕事わかってくれたかな。

6/8 府営住宅網野団地　初期消火が大切です

4/28 神野保育園　本署で救助工作車に遭遇　お母さんは脱出だ



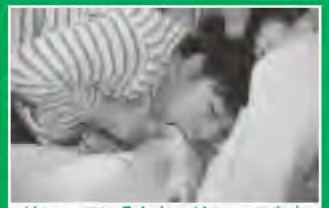
# ひろがる救命の輪

## バイスタンダーの輪がひろがります

心臓マッサージ　みんなで1・2・3・・・15回

5月11日、峰山消防署の講堂で普通救命講習会が開催され23人の輪ができました。この講習会は年に3回行われています。

押す場所が大事です



はいっているかな　はいってます

各地で救命の輪がひろがっています。
この輪は救命の連鎖となり、早い通報、応急手当、救急処置、医療処置とスムーズな連携プレイとなることを確信しています。

## 丹後6町消防団の輪がひろがります

三角巾1枚で救える命もある

6月1日、大宮町社会体育館で丹後６町消防団の幹部を対象に、救命・救護訓練を行いました。また、弥栄町消防団の全団員は、災害現場で応急手当ができるようにと、5月から7月にかけて8時間の上級救命講習会を受講されています。

## 弥栄町消防団員の輪がひろがります

全身で感じてください　命のともし火

**丹後町中央公民館で6月4日、夏本番を前にして丹後町を訪れる観光客が心行くまで楽しめ、安心して過ごすことができる施設を目指し、自主的に館内の誘導灯などを点検しました。**

施設は多くの人が出入りする施設の事ですから当然安全が用設備の機能がいつでも発揮できるように定期的に点検し、丹後を訪れる人達を迎えたいものです。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 安 | | | 自 |
| | 全 | 主 | |
| | 点 | 施 | |
| 検 | | | 設 |

# 消防の広場

## 夏火災を防げ

今年も暑い夏がやってきます。消防署では、7月20日～8月25日まで、夏火災防止運動として、広報など力を入れていきたいと考えています。

毎年この時期は、夏特有の火事が起きています。皆さんのちょっとした注意で、火事になる前に防げるものもあります。この時期に多い火事の原因を並べてみたいと思います。

- 墓参り・仏壇等の火の始末。
- 花火が草などに燃え広がる。
- タバコの不始末から枯れ草に燃え移る。

夏は雨が少なく、地面や枯れ草などが乾燥し、すぐに火が燃え移ってしまいます。消えたと思っても火が残っている場合もありますので、火を燃やした場所を離れるときはほんとに消えたかどうか確認してください。

## ドライスーツを配備

冬場の水難現場など、低水温下での活動がより安全になり、隊員の疲労度を軽減できる『ドライスーツ』がスキューバ隊に配備されました。

今後は丹後6町の災害現場に出動します。

冬場の強い味方、ドライスーツ

## 救命講習会

～救える命は救いたい～

**9月7日（日）**

9：00～12：00

家族や他の人が、突然目の前で倒れたり苦しんでいるとき、命を救えるのはバイスタンダーのあなたかもしれません。そんなもしもの時のための、人工呼吸や心臓マッサージなどの知識と技術の講習会です。

なお、参加していただいた方には、**修了証**をお渡しいたします。

**場　所**　峰山消防署 講堂
**予定人数**　先着30名 参加無料
**問合せ先**　峰山消防署救急係まで62－0119

## 東近畿地区救助指導会に出場

6月10日に行われた京都府予選で、はしご登はんに出場の木村消防士が見事に突破し、水上の部とあわせ7月30日に行われる、東近畿地区救助指導会に出場します。全国大会出場をめざし日々訓練に励んでいます。

**陸上の部**

はしご登はん

木村消防士

「自分の力が充分に発揮できるように、日々訓練に励み頑張ります。」

**水上の部**

基本泳法

今井消防士

「訓練の成果を全て出しきって、上位を目指して頑張ります。」

## 編集後記

大阪池田小事件と同時期に不審者の出没が続いた小学校区では、駐在警察官の熱心なパトロールが始まりました。その熱心さは地元の父兄も感謝するほどでしたが、「この地域は監視の目が厳しいという警戒心を与えること」がPTAへのアドバイスでした。放火を考える上でのヒントではと思っています■職務を同じくする者として、殉職された神戸の消防隊員のご冥福を一同、心からお祈りします。

## お知らせ

消防署へのお問い合わせは office@119tango-kyoto.or.jp でも受付けております。
このメールアドレスは火事や救急などの119通報には利用できません。

たんごの風 第17号
2003年7月1日発行（年4回発行）
発行/丹後広域消防組合　〒627-0011 京都府中郡峰山町字丹波826-1 TEL 0772-62-0119 Fax 0772-62-6119
管理課 TEL 0772-62-8129　予防課 TEL 0772-62-5119
編集/丹後広域消防組合広報委員会（総務課内） TEL 0772-62-8119（ダイヤルイン）